

2年目看護職員 フィジカルアセスメント研修

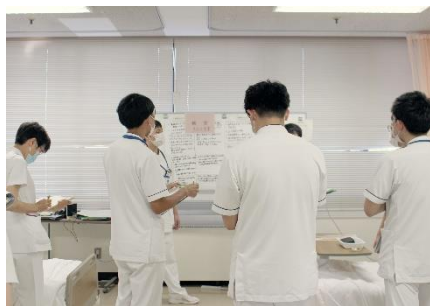
8月28～30日の3日間に104名が受講しました。研修目的は「フィジカルアセスメントに基づき、他者と協働して患者に安全、安心なケアを提供できる」です。

ICUナースセンター集中ケア認定看護師の菊谷麻璃菜さんから、RRSの講義を受けました。受講生からは「呼吸数を測定していることの意味がわかったので部署で取り組んでいけそう」などの感想が聞かれました。



受講生は1グループ6～7名で、1人1回看護師役となり、患者さんに対応しました。開始前にグループ全員で「作戦会議」(ブリーフィング)を行い、何に気を付けてケアするかを話し合い、演習しました。演習後には振り返り(デブリーフィング)を行い、

次の演習に応用しました。受講生は患者さんのスリッパをそろえる、大部屋の全員に挨拶をするなどの気遣いができ、日々の看護実践で患者さんと向き合っている様子が見えまし



た。さらに、自分たちで一生懸命意見を出し合い、多くの気づきを得ていました。研修後、受講生は「フィジカルアセスメントするためには患者情報(既往、現症、予測される症状など)を理解する必要がある」「同じ悩みを持つ同期と不足点を考えながら学ぶことができ良かった」などの感想を持っていました。

指導者から見て昨年よりも成長している2年目看護師の姿を見ることができました。受講生は経験学習の中で新たな課題を見つけ、先輩のご支援をよろしく願っています。

新人看護職員技術研修【補完研修】 「吸引」「心電図」「経管栄養」 「ドレーン」「輸血」

今年度は、各部署が技術習得の進捗状況に合わせて、研修時期、項目を選択できるようにしました。部署が希望する研修時期、項目に合わせて、5項目を6月、8月～11月で実施しています。

2～4名の小グループで実施し、指導はキャリア支援室が行っています。受講生は技術演習の前に気を付けて行う点を発表し、

演習します。演習後には振り返りを行い、改善点について意見を出し、次の実践につなげて経験学習モデルのサイクルを回しています。

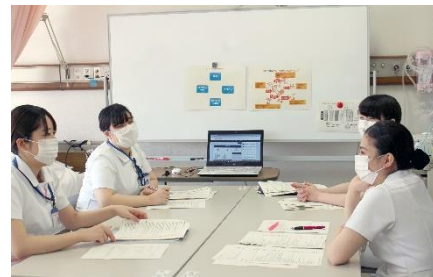
図：コルブ経験学習サイクル



受講生は日々の経験を活かしてドレーン固定のテープを美しくΩ貼りにしたり、指導者が知らないコツを教えてください。研修時期が異なることで、経験済みの受講生は技術の復

習になります。未経験の受講生は経験者から教えられることで実施時の注意点や工夫点がわかり、学びが深まります。新人同士経験を語り合いながら意見を出し合います。研修後の受講生からは、

「ドレーンの演習を受けたことで、部署で排液破棄ができた」「患者さんへの声のかけ方が参考になった」などの意見がありました。10月、11月には個人の技術習得状況に合わせて再受講が可能ですので、ご希望がありましたらお知らせください。



疲れている様子の新人がいました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですので、周囲の方も注意してあげてください。

看護技術研修室リニューアルについて

カーテンをつけ、病室に近い環境にしました。

看護技術研修室の利用について

HIS看護関連情報に看護技術研修室の使用方法、スケジュール表を掲載しています。事前にご連絡いただくとキャリア支援室のスタッフが支援可能です。

お問い合わせはキャリア支援室(内線7807)まで